

## 第6章 今後の計画の推進に向けて

横須賀市では2050年(令和32年)までに二酸化炭素排出量実質ゼロを目指す「横須賀市ゼロカーボンシティ」を令和3年1月に宣言し、また、温室効果ガスの吸収源として海藻類が吸収する二酸化炭素を排出量と相殺するブルーカーボン事業の検討に着手しました。

2020年度(令和2年度)の施策・事業、取り組みの実施状況・達成状況を踏まえ、目標年度(2021年度(令和3年度))に向けて展望を以下に示します。

なお、本計画の進捗状況を踏まえて、計画の中間年にあたる2015年度(平成27年度)に中間見直しを行いました。中間見直し後の削減目標(「市域施策編」の中期目標、および「市役所事務事業編」)については、当初に設定した目標値を維持することとし、目標値の見直しは行いませんでした。

### 1 市域施策編について

2020年度(令和2年度)は、横須賀市地球温暖化対策地域協議会と連携した啓発事業(「よこすかエコポイント」事業)への支援、個人や事業者等に対するEV(電気自動車)や充電設備等の購入・設置に対する補助などの再生可能エネルギーの導入・省エネルギーの推進に関する施策・事業を中心に実施しました。

今後も、横須賀市地球温暖化対策地域協議会などと連携し、再生可能エネルギー導入や省エネルギー推進を図るとともに、多くの市民や子どもたちを対象とした環境教育の取り組みの充実や省エネ活動に取り組みやすい事業の展開など、効果的な啓発事業に取り組んでいきます。

また、各種施策を横断的に推進していく3つの重点プロジェクトについても、引き続き実施していきます。

#### ■今後の重点プロジェクトへの取り組み

##### (1) 経済活動と環境活動の連携による地域活性化プロジェクト

2013年度(平成25年度)から横須賀市地球温暖化対策地域協議会が実施している「よこすかエコポイント」は、2017年度(平成29年度)の対象設備・機器の追加や市内協力事業者の拡大に伴い2020年度(令和2年度)も当初予定件数を超える申請があり、再生可能エネルギーの導入や省エネルギーの推進への取り組みが広がっていることから、今後も対象設備・機器や市内協力事業者の充実を検討し、楽しく環境施策に取り組むことでメリットが得られるような制度となるよう継続して行います。

##### (2) 省エネ“はじめての一步”プロジェクト

市民や事業者が省エネ活動に取り組むきっかけとなる各種顕彰制度を継続して実施するとともに、エネルギーの見える化を進めるために見える化機器の貸し出しや「よこすかエコポイント」などによるHEMS設置支援を継続して行います。

##### (3) 低炭素まちづくりプロジェクト

EV(電気自動車)の導入促進のため、補助を継続するほか、2017年度(平成29年度)から開始したハローサイクル(シェアサイクル事業)による自動車利用から自転車利用への転換のさらなる推進や、市内に生産工場を持つ企業とのタイアップにより先進的施策の検討などを行い、都市交通における環境負荷の低減を図ります。また、「かながわスマートエネルギー構想」を掲げる神奈川県とも連携を図りながら、“低炭素なまちづくり”をめざした取り組みを推進していきます。

## 2 市役所事務事業編について

2020年度(令和2年度)は、市役所も一事業者として、横須賀市環境マネジメントシステム(YES)を活用し、施設利用者に配慮した無理と無駄のない節電の取り組みが定着してきていることから、目標を達成したと考えられます。

今後も、横須賀市環境マネジメントシステム(YES)を活用し、活動が停滞・後退しないよう継続的な改善を行っていくとともに、市の施設への再生可能エネルギーの導入など温室効果ガス排出量の削減に向けた取り組みを推進していきます。